

「シルバー-民主主義時代のポスト福祉国家」読書会メモ

吉良 貴之 (法哲学)

jj57010@gmail.com

@ tkira26

1. ねらい

- ・ 経産省若手メンバー(2017年5月)を課題文献とし、ここで描かれているような「個人化」された福祉国家のビジョン、およびその前提となっている世代間の不均衡な社会保障財政の現状認識、「シルバー-民主主義」状況など見方の妥当性を議論する。
→ 問題設定のあり方そのものにどんどん疑問を抱いていく感じ。

2. 「不安な国家、立ちたて個人」

- ・ 「人生モデル」があまり程度ある時代の福祉国家モデルはやはり機能不全に。
→ 65才以上 = 高齢者、と一律に区切りではなく、働ける人には働いてもらう。
→ 若者の貧困、社会的アプシーを克服し、未来に希望を捨てる社会へ。
- ・ 「個人の選択」を尊重できる社会制度へと抜本的な改革を。
→ 「自分で人生を選択し、デザイン」... → 「不確定な明るい未来」(P.59)

3. 論点メモ

- ・ 「個人化」といって、自己責任を強調し、社会保障を削減する新自由主義的思想？
↳ 単に生き方が多様になっただけ？ : ゲム時代の社会福祉とは？
(cf. 長谷川豊の巻上, 小泉進次郎「健康ガイド免許」)
- ・ 世代間の対立をむねみに議論すること、より大きな格差から目をそらしている？
・ 「シルバー-民主主義」のよすが程之方は妥当だろうか？
・ 老年世代が社会保障の充実を望んでいるかどうかはほぼはたしきない。むしろ若年世代のほうが自民党支持率が高い現状。
→ 世代ごとに政治的嗜好を考へることの功罪とは？
- ・ 「次世代を生き育む義務」はあるだろうか？
・ 最近話題になった「独身税」など... : 扶養控除と何が違う？
・ 老年世代はその義務を怠り、若年世代を無力化するという「危害」を与えた？
↳ それ以上に若年世代に課税した方が、それを埋め合わせるべきは当然？
- ・ 今後の制度設計としてどんなものがあつたらうだろうか？
・ 年金制度への「名譽のシステム」: 細野義志, 小泉, ...
・ 税制の抜本的改革: 資産課税の強化, 相続税100%(!)
・ 議会改革: 参議院にもっと個性を持たせようか? (例) 世代割り当て,
・ 地方自治: 道州制, 大阪都構想, ...
↳ 京都府大川村「町村議会」構想(延期): 「シルバー-民主主義」を成り立たないところ...
→ 「民主主義」そのものが問い直される時代へ。